

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和6年4月19日(金) 午前11時00分 ~ 午前11時50分
開催方法	501会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 青山 裕之 委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美 委員 忰田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	吉野部長 清水次長 渡辺課長 石嶋主幹 北田副主幹 薄葉主事
議 題	(1) 令和6年度戸田市外部評価について (2) その他
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 【資料1】 戸田市外部評価委員会委員名簿 【資料2】 戸田市外部評価実施手引(令和6年度版) 【資料3】 外部評価シート・施策評価シート・事務事業評価シート(様式) 【資料4】 外部評価実施施策一覧 【資料5】 外部評価対象施策の回答スケジュールについて 【参考資料1】 戸田市外部評価委員会条例及び実施要領 【参考資料2】 令和5年度戸田市行政評価報告書 【参考資料3】 令和5年度当初予算の概要 【冊子】 戸田市第5次総合振興計画(新任委員のみに配付)

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
市長	<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱状交付 市長から委嘱状を交付</p> <p>3 市長挨拶 委員の皆様には、外部評価委員会の委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。 本委員会は、年間8回の開催を予定しており、皆様には、多大な御負担をお掛けすることとなるが、本市が目指す将来都市像「『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだ」の実現に向けて、総合振興計画の7つの基本目標を達成すべく、それぞれの立場や経験から、御指摘等を含めた忌憚ない御意見をいただき、事業の改善や予算確保の手がかりとしたいと考えている。将来の戸田市の発展のため、御協力をお願いしたい。</p>
委員長	<p>4 委員自己紹介 各委員から自己紹介</p> <p>5 委員長及び副委員長の選出 宮崎委員から事務局に一任する旨の御発言があり、他の委員からの異議が無かったことから、事務局から、佐藤委員を委員長、長野委員を副委員長に選出する案を示し、全委員の同意を得た。</p> <p>6 委員長挨拶 戸田市の外部評価委員を務め、今年で14年目となる。就任に当たり、2点お話をさせていただく。 1点目は外部評価委員が担う役割についてである。 自治体の外部評価委員会は戸田市のみに設置されているものではなく、全国の半数以上の自治体で設置されていることが分かっている。 今回、私たちが担当するのが外部評価であり、行政職員が行うものを内部</p>

評価という。内部評価は、自治体の業務担当課が自ら行っている施策や事業を自己評価する仕組みであり、この自治体自らによる内部評価が妥当であるかを判断するための第三者的な視点を担うのが、外部評価委員としての役割である。

全国的にみると外部評価の形態は様々であり、評価の対象、頻度、タイミング、基準、方法、委員会の構成メンバーが異なるものがある。

戸田市の外部評価委員会は、専門的知識を有し中立的な立場で評価を行う識者と市のことを良く知る市民が混成となっている。

外部評価委員会の委員となると、難しいことや高尚なことを発言しなければと思うかもしれないが、そうではなく、これまでの戸田市のサービスの利用者としての視点や、まちづくりのパートナーとしての視点、民間での職務の経験等、それぞれの立場や経験から忌憚のない発言をいただくものである。

2点目は、施策評価に用いられるロジックモデルについてである。

ロジックモデルを一言で言うと、施策における目的と手段を可視化したものであり、施策評価を行う上で必要不可欠な施策の設計図である。すでに政府や埼玉県においても用いられており、戸田市では令和4年度から外部評価委員会の場でもロジックモデルを活用した議論によって、評価を行っている。

戸田市の外部評価委員会は、市民と行政が協働で、事業の検証や見直しを実施し、新たな方向性を見出していく場であり、皆さんの協力が欠かせないと考えているため、御協力をお願いします。

7 議 事

(1) 令和6年度戸田市外部評価について

資料2 戸田市外部評価実施手引（令和6年度版）に基づき、事務局が説明を行った上で、次のとおり質疑応答を行った。

委員

本庁舎2階のスロープ玄関の工事を行っていると思うが、この工事に対する外部評価は行ったのか。

事務局

外部評価は行っていない。

	<p>総合振興計画の中に推進すべき32の施策があるが、本庁舎管理・改修等は、管理的な側面を持つ事業であり、32の施策に含まれず、評価対象でない計画推進のための基本的な「考え方」という分野に位置づけられているためである。</p>
委員長	<p>その他に意見や質問等はあるか。</p>
委員一同	<p>なし</p>
事務局	<p>(2) その他</p> <p>外部評価の対象施策の選定方法について連絡する。対象施策については、1年度につき6施策としている。まず、市民委員のお二人に6施策ずつを選定いただき、次に、市民委員以外の委員の皆様にも、市民委員が選定した最大12施策の中から施策を3つ選定いただく。その後、事務局において、選定数の多さ等により選別を行い、委員会選定分の3施策（案）として、第2回委員会で示す予定である。</p> <p>また、外部評価の対象施策を1年度につき6施策としているため、令和4年度から令和11年度までの8年度で、合計48施策を評価する流れである。施策数は32であるため、16の施策は、2度、外部評価の対象施策となるが、評価結果が施策の取組に反映され、効果が現れるまで、一定の年度を要することや、32の施策全てについて、評価結果を施策に反映していく必要があることから、今年度は、可能な限り、これまで選定されていない施策を中心に評価していただけると幸いである。</p>
委員長	<p>何か質問はあるか。</p>
委員	<p>資料4にて、令和4年度及び令和5年度に実施した施策一覧の記載があるが、過去評価されていない施策を中心にとということで、過去2年分のデータのみで十分なのか。</p>
事務局	<p>令和4年度及び令和5年度のデータのみで十分と考えている。</p> <p>令和3年度以前の評価は、第4次総合振興計画時代の施策数が90であっ</p>

	<p>たときのものであるため、第5次総合振興計画の施策数が32となった後に評価された分としては、2年分のデータのみとなる。</p>
委員	<p>第4次総合振興計画にて評価を行った90施策のうち、過去にどの施策が評価されたか分かる関連資料も提供いただけると助かる。</p> <p>第5次総合振興計画の32施策と似ている施策もあると思うので、元の90施策のうちどれが評価済みか分かると施策選定の助けになると考えているが、いかがか。</p>
委員長	<p>昨年度も、過去の総合振興計画における施策に関する質問があった中で、第4次総合振興計画の際の外部評価をまとめた資料も提出いただいた経緯があり、事務局からの資料提出は可能と考える。</p> <p>ただ、第4次総合振興計画の90の施策を第5次総合振興計画では32に統合等しているため、対応関係が明確であれば、過去の議事録等も参考になると考える。</p>
委員	<p>そういった経緯であれば、市民委員のお二人に興味がある分野の施策を選定いただいた上で、過去の評価対象施策の再選定の調整や資料の提供について、事務局で対応することが一番効率的であると分かったため、資料の提供は不要である。</p>
委員	<p>評価を行う6施策を選定する上で、資料4「外部評価実施施策一覧」を提供いただいたが、担当課及び関係課の関係を把握したく、可能であれば行政組織図等、それぞれの関係性が分かるような資料を提供してほしい。</p>
事務局	<p>提供させていただく。</p>
委員長	<p>その他に意見や質問等はあるか。</p>
委員一同	<p>なし</p>
<p>8 連絡事項</p>	

事務局	第2回外部評価委員会は、5月17日（金）の午前10時から501会議室にて行う。 9 閉 会
-----	--